

## \* 労働市場速報（平成27年10月分）について（解説メモ）

### 1. 有効求人倍率の動向等 【表2a】

- 有効求人数（季調値）は、101,985人で、前月比2.0%増となった。
- 有効求職者数（季調値）は、104,934人で、前月比0.1%増となった。
- この結果、有効求人倍率（季調値）は0.97倍となり、前月から0.02ポイントの上昇となった。

### 2. 新規求人倍率の動向等 【表2b】

- 新規求人数（季調値）は、38,983人で、前月比15.6%増となった。
- 新規求職者数（季調値）は、24,592人で、前月比6.4%増となった。
- この結果、新規求人倍率（季調値）は1.59倍となり、前月から0.13ポイントの上昇となった。

- 主要産業別新規求人数（原数値～前年同月比）は、製造業（2.3%減）で減少した。他の産業は増加した。

全産業では前年同月比14.5%の増加であった。【表4】。

### 3. 常用新規求職者の態様別動向等 【表5】

- パートタイムを除く常用新規求職者（原数値）を態様別に見ると、離職者（前年同月比3.3%減）、在職者（同0.3%減）、無業者（同11.0%減）でともに減少した。

### 4. 雇用保険受給者の動向 【表6】

- 雇用保険受給者の動向については、10月の受給者実人員は29,048人で、前年同月比5.9%減少した。

#### （雇用情勢の概況）

10月の有効求人倍率（季調値）は0.97倍で前月から0.02ポイント上昇。  
求人・求職の動きは、新規求人数（原数値）は、前年同月比14.5%増加、新規求職者（原数値）については、3.1%減少した。

県内の景気は、緩やかに回復している。雇用情勢については、一部に弱さが残るものの、持ち直しに向けた動きが広がっている。

■景気判断は日銀横浜支店（11月） ■雇用情勢判断は23ヶ月据え置き

今後も、雇用情勢について引き続き注視してまいりたい。